

臨時増刊号

ブル通信

2005

編集発行人 ブル
ブル通信は発行人が
ブルドッグの様な
顔をしているので
ブル通信としました。

ブル通信は
過去に...

ガッツのお車の
ご購入 売却
車検 修理
査定 見積もり

の
どれかをご利用頂いた
お客様に
お送りしています。

コロナウイルスに対する 正しい知識を身につけるために

今回の通信ですが本来は5月に発行する予定のものを臨時増刊号として発行させていただきました。

理由はご承知のとおり、猛威を振るうコロナウイルスその対応策が色々出ていますが特にSNSを中心にデマ、フェイクニュースが飛び交っております。悪意のあるものから悪意のないデマまで色々あるようですが私たちも社会の一員として正しい情報の把握とデマの防衛に参加する必要があると感じ緊急性が高いと判断したため、臨時増刊号とさせて頂きました。

今、色々流れている情報を精査し、ファクトチェックした情報のみお届けさせて頂きます。なお勝手ながら通常の通信2005は本緊急増刊号に代えさせて頂きます。

●基礎編

コロナウイルスとはどのようなウイルスか？

これまでに、人に感染する「コロナウイルス」は、7種類見つかっており、その中の一つが、昨年12月以降に問題となっている、いわゆる「新型コロナウイルス(SARS-CoV2)」です。このうち、4種類のウイルスは「一般の風邪の原因の10〜15%」流行期は35%を占め、多くは軽症です。残りの2種類のウイルスは、2002年に発生した「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や2012年に以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」です。コロナウイルスはあらゆる動物に感染しますが、種類の違う他の動物に感染することは稀です。また、アルコール消毒(70%)などで感染力を失うことが知られています。

新型コロナウイルスは、コウモリ由来というのは本当ですか？

近年、動物由来と考えられる2種類のコロナウイルスが発生しヒトに感染し

流行しました。2002年に発生した「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や2012年に以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」です。

新型コロナウイルスが動物由来であるとの確定的な証拠は見つかっていませんが、その遺伝子配列が、コウモリ由来のSARSの様なコロナウイルスに近いため、コウモリがこの新型コロナウイルスの起源となった可能性が考えられています。

●コロナに関するチェック済み情報のまとめ

①キッチン用のエタノールのコロナウイルス消毒効果は科学的に証明されていない
直接的科学エビデンスとなる文献情報は確認できていないが、ある市販のキッチン用エタノール製剤のコロナウイルスに対する消毒効果に関しては科学的評価データは存在している。

②花こう岩などの石 ウイルスの分解に即効性がある(フリマサイトなどに出品して売っている)

産業技術総合研究所地質標本館の森田澄人館長「花こう岩は、地下深くマグマが固まってできた岩石で、建材や墓石などによく使われる石です。地域によっては、庭先や近くの川原にたくさん落ちていてごく普通の石です。病気になる効能などは確認されておらず、科学的根拠は全くありません」(NHKのよる取材より)

③鼻水と痰が出る場合は新型コロナウイルスではない(Twitterで拡散)
厚労省HPによれば、国内13例目の20代女性は鼻水が続くため医療機関を受診して発覚

④新型コロナウイルスの再感染は致死性的、2回目に感染したときは死んでしまう(某病院の医師が動画で拡散)

感染症が専門の神戸大学の岩田健太郎教授によると「(調べた限りでは)『2回感染した』という事例は、1度も確認されていない」「再感染が確認されていないということは、それが心不全を起こすということも当然確認されていない」「動画の中で『血清型が少し違うウイルスがやってくる』という発言

がありました。またそんなものは確認されていません」【2月28日時点の情報】
⑤ コロナウイルスは熱に弱く、26℃～27度のお湯を飲むと殺菌効果がある

（医療ガバナンス研究所の上昌広理事長によると）摂氏26度や27度でウイルスが死滅するのならば、人間の体温は36度付近なので体内に入った時点で死滅することになる。根拠のない話。聖マリア病院の本田順一（副院長・感染制御学）によると「26℃～27度で死滅するなんてことはあり得ない。お湯に関しても根拠のないデマ」近畿大の吉田耕一郎教授（感染症学）によると「人間の体温より低い温度で殺菌できるなんて、常識的に考えてあり得ない。出元の分からない情報を安易に信じるのは危険だ」

⑥ ウイルスの予防に紅茶や緑茶がお勧め（「Witter」拡散）

お茶に含まれるポリフェノール成分の一種に、抗ウイルス作用があるとする説に基づくものとみられるが、ポリフェノールに詳しい開発邦宏・大阪大連携研究員は「そうした研究はあるが、実際に人で予防効果を示した報告はない」と指摘。

⑦ 30分に1回の軽いコップ1杯の給水で胃に流れて胃酸で死滅するようなので、予防にはお勧めです。

海外で感染症対策などにもあたっている日本赤十字社和歌山医療センターの古宮伸洋医師の話「医学的な根拠がないというのは言えます。ウイルスが胃酸に弱いのは確かですが、のどだけではく、目や鼻の粘膜からも体に入って感染します。この方法についてヒトでの効果を科学的に立証したデータはありません」

⑧ 感染していたかどうか分からない肺炎死亡者がいるのなら、実際の死者数は公表値より多いのではないかと

厚生省結核感染症課の担当者は「誤嚥性肺炎なども含め、すべての肺炎患者の方の遺体をPCR検査しているわけではありません」と説明する。そのうえで「ただし、原因不明の肺炎で亡くなった方の中で、生前に新型コロナウイルス感染症の病状があった遺体などについては、医師が感染症法に基づき、地域の保健所を経由して都道府県知事に届け出る義務があります。公表している死者数と実際の死者数が乖離しているという状況はあり得ません」と否定した。

●もしかしたら自分も？と疑った時の正しい対処法、自分を守り感染を拡げないために

発熱などのかぜ症状がある場合は、仕事や学校を休んでいただき、外出やイベントなどへの参加は控えてください。休んでいただくことは本人のためにもなりますし、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。そのためには、企業、社会全体における理解が必要です。厚生労働省と関係省庁は、従業員の

方々が休みやすい環境整備が大切と考え、労使団体や企業にその整備にご協力いただくようお願いしています。咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触ったドアノブなど周囲のものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他者に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。発熱などのかぜ症状について、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気による場合が圧倒的に多い状況です。風邪やインフルエンザ等の心配があるときには、これまでと同様に、かかりつけ医等にご相談ください。新型コロナウイルスへの感染のご心配に限っては、最寄りの保健所などに設置される「帰国者・接触者相談センター」にお問い合わせください。特に、先日「相談受診の目安」として公表しました以下の条件に当てはまる方は、同センターにご相談ください。

■ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならぬときを含みます）

■ 強いだるさ（倦怠感、けいたんいかん）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合
高齢者をはじめ、基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など））がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方

■ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が2日程度続く場合・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合

「帰国者・接触者相談センター」では、皆さまから電話での相談を受けて感染が疑われると判断した場合には、帰国者・接触者外来へ確実に受診していただくよう調整します。その場合には、同センターより勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することは控えてください。

同センターで、感染の疑いがないと判断された場合でも、これまで同様かかりつけ医を受診していただけます。その場合、肺炎症状を呈するなど、診察した医師が必要と認める場合には、再度同センターと相談の上、受診を勧められた医療機関で新型コロナウイルスのPCR検査を受けていただきます。

実は私の知人のクリニックではコロナの患者がそれと知らず来院したため現在、閉鎖となっています。

充分にルールを守ることが結局は終息を早めます。今、全国民が二丸となって戦うべき時だと思えます。

正しく恐れ、デマに乗らず、ワンチームとして一刻も早く終息を目指すべき時と考えます。

健康不安に関する問い合わせは0120-56-5653 厚生労働省電話相談窓口まで（9時から21時土日受付）